

第9回香川県がん診療連携協議会院内がん登録部会がん登録実務者会・議事要旨

日 時 平成24年5月21日(月) 13時30分～15時00分

場 所 香川大学医学部附属病院 管理棟5階中会議室

出席者 別添

配布資料 別添

開 会

香川県がん診療連携協議会院内がん登録部会長合田文則香川大学医学部附属病院腫瘍センター長より、がん登録実務者においては、研修会等において研鑽に努めてほしいと挨拶があった。次に人事異動により変更になった部会員の紹介があった。今年度の院内がん登録補助金額の変更点についても説明があった。

1. 議事

1. 報告

(1) 平成24年度第1回院内がん登録実務指導者修了者研修

福田部会員より、資料1に基づき報告があり、院内がん登録指導者は香川県内で現在1名(香川大学医学部附属病院)しかおらず、香川県内の他のがん診療連携拠点病院からも指導者研修を受けてみてはどうかという発言に対して、香川県健康福祉総務部岡野主任からは、積極的にがん登録研修には参加してほしいと発言があった。

また、今後のがん登録について、次期がん対策推進基本計画が2012年3月1日に厚生労働省に答申されたことを受け、早ければ2012年5～6月に次期がん対策推進基本計画が閣議決定され、がん登録の個別目標として、5年以内に法的位置づけの検討、効率的な予後調査体制の構築、院内がん登録を実施する医療機関数の増加の三点をあげ、がん登録の精度を向上させることを目標設定していると説明があった。

(2) 予後調査について(予後調査支援事業への参加)

福田部会員より、資料2に基づき説明があり、香川大学医学部附属病院では香川県の推薦を受け、厚生労働省から委託を受けた国立がん研究センターの2007年診断症例3年予後調査事業に参加したと報告があった。予後調査対象症例は1175件であり、そのうち、予後不明の364件に対し国立がん研究センターへ照会しており、回答を待っている状況であると報告があった。松浦部会員より、香川県の目標として5年生存率が上げられており、県としても協力支援していただきたいと発言があった。

2. 研修

(1) 「がん診療連携拠点病院 院内がん登録2009年全国集計報告書」

「2009年診断症例香川県版について各施設からのコメント」

福田部会員より、資料3に基づき説明があり、部会員の登録項目の解釈や登録の仕方など、各拠点病院から活発な意見があり、香川県として統一がとれ、登録の精度向上につながった。

合田部会長より、香川県の2008年登録数に比べ2009年登録数が増えたということは、県内のがん患者が増加しているのか、拠点病院にがん患者が集まっているのかという発言があった。福田部会員より、2009年度から外来患者を登録した施設や登録担当部門の変更など、様々な要因があり単に増加したとは断言できないのではないかとの発言があった。合田部会長より、がん患者が本当に増加しているのか、拠点病院にがん患者が集まってきているのか、どんながん患者が増えてきているのかなどの解析が必要になってくるのではないかという発言があった。

各拠点病院において今度は医師に2009年診断症例香川県版集計を見ていただきコメントをもらうことになった。各施設の実務者と医師のコメントをまとめ、8月末に開催される、香川県がん診療連携協議会へ報告することとなった。

(2) 院内がん登録 2012 年診断症例の登録について

福田部会員より、資料 4 に基づき説明があった。

3. その他

(1) 地域がん登録廻り調査について

香川県健康福祉総務部大山主任より、各拠点病院に廻り調査の協力依頼があり、続いて、2009 年症例より拠点病院以外の病院にも対象を広げ廻り調査を行う予定としていると説明があった。

松浦部会員より、DPC の地域医療指数の観点から地域がん登録指数が 0 ポイントの施設はまだ地域がん登録の提出件数が少ないのではないかと指摘があり、本実務者会として県から登録の少ない施設に対して登録増加を働きかけていただくよう依頼した。